

令和元年度事業報告

高齢化が益々進行する中で、高齢者が長年培ってきた豊富な知識、経験、技能を活かして地域社会に貢献できるシルバー人材センターを目指し、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもとに、理事会、委員会及び地域班を中心に、会員主導の事業運営を推進しながら、会員の増強、受注拡大に努めてまいりました。

令和元年度は、わが国が平成から新元号へと移り変わる節目の年であり、経済も緩やかに回復の兆しが見える中で10月には消費税も10パーセントに上がり、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けてスタートしました。しかし、年明けからは新型コロナウイルス感染症が世界中に拡散、異例のオリンピック・パラリンピックの延期や学校の休校、イベント・集会等の中止、外出や営業の自粛を求められ、日本経済、世界経済が脅かされる事態となりました。センターにおいても感染拡大予防のため会議等の中止や愛デアキッチンの営業自粛、各事業所から休業の通告など随所に影響が出ました。

このような社会情勢の中で、年間を通して就業機会の拡大や会員増強など普及啓発活動に努めてまいりましたが、国の働き方改革等により企業の継続雇用が進む中で慢性的に会員不足は続いており、新規事業として取り組みをした新会員紹介カードシステムにより多少ではありますが会員の増員に繋げることができました。また、女性会員拡大に向け、魅力あるセンター事業を実施するため女性委員会の設置準備を行いました。

シルバー事業の拠点となる高齢者ワークプラザでは、剪定・草刈・襖張りなど技術向上のための技能講習会や、生きがい教室、愛デアキッチンの惣菜ランチ事業、愛デア工房の手づくり事業等、地域交流の場として多様なシルバー事業をPRしました。また、会員の「楽友同好会」では、春と秋に旅行を実施して会員の親睦を深めました。

第3次中期計画の目標に対する実績は、会員数300名に対して271名(90.3%)、契約金額1億950万円に対して1億9万8千円(91.4%)でありました。目標達成に繋げるためには更に多様化するニーズに対応できる会員の確保が何よりも重大な課題となっています。

以下、令和元年度事業実績について報告します。

1 会員の拡大と入会促進

- ・新規事業として「新入会員紹介カード」により会員1名が1名以上を目標に新規会員の獲得に努め、入会登録まで導いた6名には愛デアキッチンの食事券を贈呈した。

- ・女性会員拡大のため県シ連課題研修や先進地シルバー視察研修に参加し、女性理事を中心に女性委員会設置に向け準備をおこなった。
- ・シルバーだより、町広報紙、ホームページ、自治会回覧板、チラシのポスティング、公用車のマグネット掲示板などを通して会員募集を実施した。
- ・令和元年度の会員状況は、入会者28名、退会者26名で年度末会員数は271名となり、昨年度より2名増加した結果となった。

2 就業機会の確保及び提供事業（請負、委託）

- ・会員の就業機会の確保及び拡充を図るため、就業開拓委員や地域連絡員による一般家庭・事業所及び公共機関等への就業開拓活動を実施した。
- ・独自事業として、愛デアキッチンのうどん事業、焼き芋販売、惣菜ランチ事業にお持ち帰り惣菜販売も追加して集客に努め、愛デア工房（木工・小物づくり事業）はロビーで展示販売し、町のイベントにも出店した。
- ・東郷町より委託事業として、家具転倒防止器具取付業務、介護予防・日常生活支援総合事業について受託し、契約金額は昨年を上回ることができた。
- ・生活応援隊（ワンコインサービス）、家事援助サービスで、高齢者世帯などの困りごとに対応しながら地域貢献に努めた。
- ・会員の就業実績は、受託件数 1,452 件（前年度比 2.4%減）、就業延人数 21,284 人（前年度比 0.5%減）、配分金 86,516,000 円（前年度比 3.6%増）であり、配分金実績等は前年度を上回る結果となったが、受託件数減少の原因となる需要の多い業種の会員不足の解消に向け、お客様満足度調査や会員の意向調査を実施した。

3 労働者派遣事業（派遣）

- ・会員の多様な就業形態に対応するため、愛知県シルバー人材センター連合会の東郷町事務所として労働者派遣事業を実施し、就業延人員 2,006 人（前年度比 1.7%増）、派遣事業総額 11,561,979 円（前年度比 8.6%増）となり、事務手数料分 1,375,436 円（前年度比 4.7%増）が労働者派遣事業受託収益として東郷町事務所の財源となった。

4 職業紹介事業（雇用）

- ・会員の多様な就業形態に対応するため、愛知県シルバー人材センター連合会の東郷町事務所として、有料職業紹介事業を実施した。

5 ワークプラザ維持管理受託事業

- ・東郷町高齢者ワークプラザの管理運営を通して、高齢者の就業機会、健康増進と交流の場を提供した。特に、愛デアキッチンのうどん・惣菜ランチ・

焼き芋事業、愛デア工房の木工・小物づくり事業、花の寄せ植え教室等も一般向けに開催してシルバー人材センターの存在をPRした。

6 講習会等の実施事業

- ・高齢者の入会促進及び会員の希望する業務分野の技能を習得して、就業に繋げることを目的に、草刈り、庭木の剪定、襖・障子・アミ戸張替えの技能講習会を各2回実施し年間計41人が技術を習得した。
- ・生きがい事業として花の寄せ植え教室を開催し9名が受講した。

7 調査研究及び相談事業

- ・需要に応えられる体制づくりを検討するため、発注者向けに「お客様満足度調査」、会員向けに「意識調査」を実施した。
- ・全国シルバー人材センター事業協会、愛知県シルバー人材センター連合会、尾東地区シルバー人材センター事務連絡協議会において連携強化を図り、情報交換・情報収集に努めた。
- ・毎月、新入会説明会を開催する第1・第3火曜日に、高齢者からの就業相談に対応するほか、10月を相談月間として未就業会員や地域の高齢求職者などに就業に関する情報提供をし、日常の会員の困りごとなどにも対応した。

8 安全・適正就業推進事業

- ・安全意識の向上、事故防止を図るため、安全就業委員会を年4回開催し、就業先への安全就業パトロールを3回、救急救命講習会を1回、安全運転講習会を1回開催した。令和元年度の事故件数は、傷害事故0件、賠償事故6件であった。安全就業委員会では重大事故に繋がる可能性のあるヒヤリハット事例を収集し事故防止を呼びかけた。また、新型コロナウイルス感染予防策を全会員に周知し、感染リスク等について事業所等の勤務状況などの聞き取りを行った。

9 独自事業の推進

- ・東郷町高齢者ワークプラザにおいて、「愛デア工房」では、会員の技能を活かした手作り小物・木工製品の制作販売し、「愛デアキッチン」では、水曜日に惣菜ランチ&カフェを、金曜日にうどん定食、焼き芋を提供して地域の方々に周知し利用いただいたが、新型コロナウイルス拡大予防のため2月下旬より営業を自粛した。
- ・「愛デア工房」は東郷町文化産業まつりにおいて出店販売し多くの方に手作りの良さを知っていただくなどPRできた。

10 普及啓発事業

- ・会員への入会の促進、就業情報の提供を図るため、ホームページによる啓発やシルバー機関紙「東郷のなかま」を年1回発行、町広報誌へ毎月掲載、自治会回覧を2回実施、広報委員会によるチラシの配布、役員を中心に東郷町文化産業まつりで普及啓発活動を実施した。また、10月をシルバー事業普及啓発促進月間とし、役員・委員等によるチラシの制作や事業所訪問、会員による口コミ運動、チラシのポスティングやポスターの掲示、社会奉仕活動として町内公共施設周辺及び境川河川敷のゴミ拾いを63名の参加を得て実施した。

11 事業推進体制

- ・公益社団法人として定時総会を6月に開催し、前年度の事業報告及び決算等が承認された。また、理事会を定例会として12回開催（うち3回書面議決）し、会員の承認をはじめ平成30年度の決算関係、平成31年度（令和元年度）の予算執行状況や補正予算、令和2年度の事業計画及び予算などについて審議し承認された。また、第3次中期計画の3年目の年であり、目標数値を意識して推進したが達成に至らず、発注者の需要に応えられる会員拡大が先決問題となっている。
- ・安全就業委員会、就業開拓委員会、広報委員会、地域班会議を随時開催し、事業推進の機能強化を図った。
- ・事務所内の経費節減に努め、事務局職員の目標管理の実施や県シルバー連合会等の研修会に積極的に参加し職員の資質向上・人材育成に努めた。

12 その他

- ・地域支え合い協議体に参加し情報収集をしながら、東郷町高齢者支援課及び東郷町地域包括センター（北部・南部）と調整して啓発に努めた。
- ・会員の「楽友同好会」では、春のウォーキングとして飛騨金山へ22名、秋は貸し切りバスで南知多の温泉食事処小野浦へ26名が出かけて料理を堪能し会員相互の親睦を深めた。
- ・尾東地区シルバー人材センター事務連絡協議会の会長センターとして、総会及び事務研究会を通じて11センターが情報交換、調査研究できるよう調整を図った。第4回事務連絡会議において、県シ連会長の講演を企画し57名の参加予定者を募ったが新型コロナウイルス感染拡大予防策として中止とし、次年度会長センターに申し送りをした。